

令和5年度 放課後等デイサービス 保護者等アンケート集計結果 事業所名：シュタイナーハウス・モモ
 公開：令和6年4月 回答率：95%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見→ 工夫している点・課題及び改善点
環境・ 体制整備	①	子ども等の活動スペースが十分に確保されているか	21				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19			2	人員配置は規定上には問題ないが、子どもの特性や支援内容によって、今年度から児童指導員を増やし対応する。
	③	事業所内の環境や設備等は、安全に過ごしやすく整備されているか	20			1	日々の見回りをを行い安全な環境が提供できるように努めている。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	21				支援計画を立てる際には、面談していただき話し合って作成している →利用者のご家族の目線に立って支援計画を立てている。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11		2	8	去年は、朝日新聞社への訪問学習や青少年自然の家での体験活動等の際に、障害のない児童たちとともに活動した。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20		1		自己負担金や利用金額について詳しく説明してほしい→事業所の利用開始に際して説明を行っているが、分かりにくい点などは補足を行っていく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19		1	1	母親が体調不良のため送迎できずあまり話ができていない→日々の連絡帳や、その他の連絡手段また面談を設定するなどしてさらなる情報交換に努める。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	2	2		あればしてほしい。土曜・平日でも →現時点でも要望に応じて保護者面談や教育相談を行っている。今後はこちらからご家庭に問うなどして対応していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	5	1	7	あればしてほしい。保護者向けの勉強会やシュタイナー教育について →年に数回（文化の日など）事業所の活動を公開し、保護者にも事業所

						で行う芸術体験（陶芸・染物など）をして、保護者同士の交流を図っている。保護者への参加をうながしていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	3	3	迅速かつ適切に対応している。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21			
	⑬	定期的におたよりやホームページ等で、保護者に対して活動内容や行事予定などに関する情報を発信しているか	18	1	2	ホームページで数か月ごとに活動報告を行い、1年毎に報告書や著作の形で活動の理念と実践をお知らせしている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19		2	利用開始時に個人情報保護のための確認書を保護者に書いてもらい、それに基づき実践している。
緊急時等の対応	⑮	利用者や事業所内における緊急時および感染症に対する対策がきちんとされているか	11	3	7	感染症についてはアルコール消毒や手洗いの励行に心がけている。BCPについても研修を行っている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1	6	年に2～3回、様々な非常事態を想定した避難訓練を行っている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21			子どもの通所予定に合わせて行事予定を立て、楽しみに通所できるように考えてもらっている→当日来所する児童に合わせ活動を企画し、各児童が来所を楽しみにできるよう努めている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	1		通って間もないため判断ができない→6ヶ月に一度のモニタリングを行い、必要に応じた支援の見直しを行っている。支援について不明な点があれば随時相談にのり対応していることを周知していく。